



本郷台小 だより

5 月

横浜市立本郷台小学校
令和4年4月28日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

シトラスリボン part 2

校長 原 南実子



新緑の季節になりました。校庭の桜の木は青葉を輝かせ、東門わきにあるクスノキはつやつやの黄緑色の若葉を光らせています。

さて、2年生から6年生までの保護者の皆様や地域の皆様は、今月号のこのタイトルは去年もあったぞ、と思われていると思います。そうなんです。令和3年度6月号に「シトラスリボン」というタイトルでお届けしていました。今月号はそのパート2となります。昨年度、シトラスリボンを広める活動をしている笠間小の保護者の方と、同じ保育園つながりの本郷台小の保護者の方と、そのお子さんが行っている台小キッズクラブの先生方がつながり、台小の職員もつながり、一つ一つ手作りをし、本郷台小の子ども達みんなにシトラスリボンがプレゼントされました。ランドセルに付けている子どもたくさんおり、子ども達は大事にしています。今年度になり、キッズのスタッフの皆さんが、新1年生のために新しくシトラスリボンを作って届けてくださいました。上の写真がそれです。きれいな箱に詰め、リボンをかけてプレゼントしてくださいました。なんと嬉しいプレゼントでしょう。このシトラスリボンは、コロナ禍で生まれる差別や偏見をなくし、皆が優しい気持ちをもって暮らしていけるように、という願いで作られました。このプロジェクトを最初に立ち上げたのが愛媛県の有志の皆さんなのですが、愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色で作られ、そこからシトラスリボンという名前が付けられました。シトラスリボンには3つの輪があります。この輪は、「家」「学校（職場）」「地域」を表します。感染した方々を遠ざけたり、偏見のまなごしを向けたりすることなく、3つのどの場所においても「ただいま」「おかえり」と言い合えるような優しい気持ちと人と人とのつながりを大切にしていこう、という思いが込められています。こうしたメッセージを、台小の子ども達は心に受け止め、理解し、大切にしてきました。そんな様子をキッズのスタッフの皆さんはずっと見守ってきてくださいました。そして、優しい気持ちを大切に、優しい気持ちはずっとつながっていきますようにと、今年度入学した1年生にもシトラスリボンを作ってくださったのでした。シトラスリボンが伝える思いやりの心、優しい心、差別や偏見を生まない考え方と行動。今年度も学校全体で大切にしていきたいと思っています。

子ども達の心が豊かに育つように、台小にはたくさんの方々子ども達に思いを寄せ、かかわってくださっています。素敵なまちで育つ子ども達です。SDGzの17項目の中に「住み続けられるまちづくりを」というものがあります。様々な視点で実行されていくものですが、気持ちのもち方も、誰もが住みやすいまちづくりを達成するための大切な要素だと考えます。シトラスリボンのメッセージを受け止めることのできる台小の子ども達、温かいかわりの中で育つ台小の子ども達が、温かい社会を創る担い手として育っていくように、保護者や地域の皆様とともに、子ども達を育てていきたいと思っています。

1年生には、本日、この学校だよりとともに写真右端のようにしてシトラスリボンを届けます。職員室アシスタントが一人ひとり用に作りました。キッズの皆様、素敵なプレゼントをありがとうございました。